

議会及び議員の活動評価と目標を公表します



下川町議会基本条例では、議会と議員の活動の内容を公表し、議会や議員活動の活性化を図るとともに活動状況を議会白書としてまとめ、それぞれ自己評価し、その結果などを1年ごとに公表することとしています。

今回は、令和6年の目標とその評価、**令和7年(令和7年5月～令和8年4月)**の目標の一部を公表します。詳細については、今後発行する議会白書に掲載しておりますので是非ご覧ください。

令和6年目標 「議員とフリートーク」などを通じて町民の要望などの把握や抱える地域課題を議会全体で共有するとともに、その課題の解決に向けて政策提言を行う。

令和6年評価 町民の要望などの把握や抱える地域課題を議会全体で共有できた。またそれらの意見、要望について、一般質問等に繋げることができたが、政策提言書の提出までには至らなかった。

令和7年目標 「議員とフリートーク」などを通じて町民の要望や地域が抱える課題などを把握し、議会全体で情報共有するとともに、重要な課題と思われるものについてその解決に向けた政策提言を行う。議員の成り手不足解消に向けた、町民との意見交換会など具体的な取り組みを進める。



下川町議会



あびこ ひろまさ
我孫子 洋昌 議員

令和6年目標 様々な手段を通して、議会活動についての情報発信や意見交換を行い、議会に関心を持ってもらえるように取り組む。

令和6年評価 議会活動についての情報発信や意見交換は、“もう一步”といった感想を抱いてしまうものの、様々な場面で議会への関心を持ってもらえるよう努めた。

令和7年目標 議会、議員を身近な存在として感じてもらえるよう心掛けつつ、議会を代表する立場としての緊張感を自覚して議員活動に取り組む。

令和6年目標 地域の様々な課題解決に向けた、一般質問などによる政策提言と具体的な施策の実現に向けた活動を実施する。

令和6年評価 地域の課題解決に向けた活動については、一般質問などを通じて政策提言を行い、町の前向きな回答を引き出し、概ね具体的な施策に繋げることができた。

令和7年目標 親しみやすく接しやすい議員活動を通じて町民の要望や地域が抱える課題を把握し、一般質問又は直接的な町への働きかけなどにより、速やかな課題解決に繋げる。



さくらぎ まこと
桜木 誠 議員